

奇蹟で示される神の实在

黎明

発行所
京都市左京区吉田神楽岡町3
世界救世教黎明教会
電(771) 2022 番
定価1部20円

神様の御目的である眞善美完全理想世界・地上天国実現の段階に愈々入っていることを、明主様から私共は、はっきりとお説きいただいております。

ここで、最も根本的、且つ困難な問題
は、長い間、神様を無視してきた世の中
の大半の人々の魂を呼び覚まし、神様の
実在を認識させることであることは、先
号で申上げた通りであります。

今日までの多くの宗教が、このためにいかにか多大の苦心努力をはらってこられたかは今更申上げるまでもないことであります。しかし、この事が非常に難かしい問題であることは、現在の世の中の状態を見ればよく分るのであります。

を通過して、その直接的な絶対力を發揮せよとされることになったのであり、淨靈こそそれの表われであります。また、先号で考へさせていただきましたように、淨靈は宗教と科学以上の真理の表われであり、而も科学との接點をも兼ね備へて居り、

唯物分野の人々でさえ神様の御力・御心にふれさせていただけの可能性をもっているわけであります。ここに、淨靈による奇蹟と、今日までの宗教による奇蹟との間に、本質的な違いを見出させていた、だけだと思います。

しかし、ややもすると、誰しもがあまりにも簡単に浄霊のお取次ぎをお許しいただけるために、より高い段階で浄霊の持つ意義をつかませていただく努力を怠り、自分勝手な考えで浄霊を理解出来なくなり、つもりになったり、その誤まった考えを

かと思ひます。

明主様はかつて「この道を研究したい」と希望する人は、お守りを受けたらよい(24・7・3)と、仰しやつて居られます。す。しかし、すぐその後で、「そういう時」は大いなる知らず知らずのうちに

よい」とつけ加えて居られます。悉くく研究は大いに結構だが、同時に出来るだけ多くの御教えに接することによって、誤まった方向にふみ迷わないようにしなさいと、注意して下さいのだと思いま

5

ここで、私共が考えさせていたなかねばならないことは、長い間唯物科学・無神思想に支配されて来た人々が、実際に奇蹟のあらわれを目前にしても、その奥に潜む神様の御心をつかませていただくことはおろ

か、恐らく偶然として片付けてしま
うか、全然見逃してしまうのが大部
でありましょう。よくいって表面的
で満足してしまうことが多いわけ
あります。勿論これは、その人の魂の

靈は『靈を争ひたる事を目的とするもの』であると思ひます。ここに、私共は再び霊のもつ大なる意義を見出させていただくのであります。

「（『靈主体從』）であり『靈の曇り（消法）』（地34）であると御垂示いた
てております。また、
『本教浄靈に至っては、直接魂に向っ

明主様の御救い
浄霊について

「靈光を注いで浄めるのであるから、その効果たるや到底底体的（五官を介して浄める方法）の比ではない」（地39）とおっしゃりたいで居りますように、浄靈の力によつてはじめて、人々が奇蹟を通じて

神靈の實在を認識し、更にその奥に神様の御心を覚り得るような魂になつてゐたに過ぎない。私共が浄霊をいただくことによって、奇蹟を体験してゐたのと同時に、たとへば、雲の曇り方では気がつかない間にも、雲の曇り

「理窟でも科学でも経験でも解釈出来
(奇一) 奇蹟を体験し、その奇蹟
単なる偶然ではなく、起るべき理由が
に起る上、それも、

「『本原は靈に起り、体に移写するので、
（奇3）ことを分らせていただき、
更にはその根原である神様の実在を認識
更に神様の御心を覚らせていただく
めに、神様が私共に採られた方法が漁

盟であることを、今一度はとりさせて

かかつて、フランスのある雑誌の主筆をしていたかなければならぬ」と思います。

そしていたが、カルティユ氏夫妻が明主様とお会いし、浄霊について色々お尋ねしたことがありました。その時、カルティユ氏は「癒す御力というものが有りになる

と同時に、例えば頭を痛くする事もお出
来になりますので」と言う大変核心をつ
いた質問をされました。これに対し、明
主様は即座に次のようにお答え下さった
わけですね。

「一痛めるは悪です。苦痛です。すからぬ。然し、痛むを取る為に一時痛む場合もああります。それは浄化作用です」(榮田)また、ある御論文の中で、淨靈の一つの特質として、

「その目的が正であり善であり、人類愛的でなければ効果を發揮し得られない事である」(地4)とお説き下さって居ります。ここに、私共は淨靈が科学との

中 会長 多田 光行

接觸点をもちながら、決してそれだけの
ものでないことを、分らせていただける
と思います。

現在、科学文化によって、私共は多大
の恩恵をうけてきたことは否定できない

相は、全く科学の進歩、発達によるものと申しても過言ではありません。しかし、原子爆弾等を見ても分るように、「進歩した科学を悪の方でも利用する」危険が生じてきて居ります。つまり、科学そのものは、善い働きと悪い働きとを、利用

のほかに、他の働きにも思ひ働かすに利用
れ得るわけであり、それを使う人間の心
に左右されるということでもあります。し
かし、浄霊は如何なる人間がお取次ぎさ
せていただいても、あくまで善の働きで
あり、悪の働きに利用されることなどは
全くありえないわけにあります。世の中

にはやもすると善と信じて行つたことが人を不幸にする場合もあるわけでありませんが、私共が淨靈をお取次ぎさせていただいている時は、完全に善の働きとしてお使いいただけるわけであります。

ある人が一人以外の生物や無生物に御を苦しみから永遠に救わんとされる神様

量をとるのも適量しか効果があるまい。浄土をどういう訳でしようかと質問申上げることがありますが、明主様はその時、「淨土をする」とね。すべての靈りが浄土を浄化するのとね。浄化するのと、何とすべていい働きをする様になるんではないかと思ひます。

(中略)つまり、森羅万象一切のもは曇りかると「力」が出て、その本来のよい働きをするんです。(中略) 状態はそれ以前とは異っているわけでありすから、その人の浄霊に対するあり方も当然変わってなければならぬいわ

「その病人が何も分らない内は疑いの
し、反対もし、物は試しだらうにやる
のですが、それはそれで神様に許され
ます。それは当たり前です。ところが、中に
ある人が「これは驚くべきものを焼
き下すって居ります。また、火事を浄
のようになるんです」(光17・24)とお
し、すべて人間の幸福を増すべき働きを
かたがた、かたがたと述べて居る。さう

ずは済ましてしまふんだから悪いのでないか」と言ったのに対し、明主様は「そうではない、非常にいい事なんです。もう、それが神の慈悲なんです。悪人が悪いのです。うまくゆかないのです。助けなくてはいけないんです。火事がたというのは、そこが燃れているか窟があるのです。だからかえって疑って

それを浄化するために焼かれるんです。いた人が馬鹿に治り、それから相当に信じている人で治りが悪いという事がありまして、それはそういう訳です。全然知らない人はいくら疑っても、それは知り前の事で許されるのです。理窟に合ってるのです。ところが相当事実を見せら

意識に、ただ哀想だからやってあげないから、なお疑っている人は思うように、それでよい。無意識でないんです。それがよいに己まれに慈悲なんです。それで、そのする事がまた、神様の御旨にうんです」(光17・22)とお説き下して居ります。

淨土は病癒治癒の爲の目的のように、淨土を求めてはたらくことが、本當から言うとおりにしては、ないが、もっと大きな意味がある。言にして言えば淨土とは幸福を生む方法（地34）であり、そこには、人間の仕合せをなくして、一人でも多くの人間がとくされ、神樂の大愛の御心が、かく奇蹟を本懐させていた、ということの確立がなされて居ない場合には、せつたが、もし「御教恩に基づく信仰」

以上、印度で水の上を歩いて渡った人水の上を渡ったって、人間や社会の何の益もない。単なる興行師にすぎないかと思ひます。

明主様は、かつてお蔭話や体験談に解説をつけて下さったことがあります。恐らくその中にある御神意を、私共が今後少しでも深く正しく覺らせていただけるのではないかと思ひます。

ない。つまり病気が治ったり、貧苦のようにとの御心からそのようにして下さる。解決したりなど實際の効果がない。お説き目下（「昭23・Ⅱ・28」と）「ただいで居りますように、明主様を通してあらわされる奇蹟には、必ず私共し考えさせていただきたいと思ひます。次号ではこの点から出発して、淨靈にこめられて居る神様の御心について今少

明主様の御救いについて

(その3)

浄霊について ④ 会長 多田 光行

会長 多田 光行

<下>

[illegible]

でしよう。これからは、ご用命
が来るより、ご用お返しにいた
だけるように、

長沢 会生先生の御前が、そ
れほどご多忙なのに、まだ面見
です。それならぜひ面会をませ
て。

お返しに、

馬場	長谷田	田太
源	中田	
氏	ね	勝和
孝子	武子	康子
様	様	様
（お八郎）		

いたいたに親友は辛抱強いと思
います。会生様の御前にも力
を貸さう。おられる長生殿事
を、ぜひ足がかりにせねばなませ

[illegible]

自然農法試験田たより

したので、三國の草とは
見えてゐることになりま
す。それこの日曜の草刈
にしました。

々々草々々々、その種類
について、よく知り草が全消
え

（むろみんげつ）穂刈がな
い様子が、自然畑では全くち
れませんが、10月土曜刈りが楽し
みです。

（芽は8月1日・上田酒蔵
撮影）

キノルハ、いかなる細菌類
して殺菌・発育阻害作用のあつた物
質で、細菌性下痢・胃腸炎など腸
内殺菌・異常發酵防止として大く
用取され、急性慢性に依り、病
毒ともなふスモン菌症に使はれ
る。しかるに腸殺菌は、同菌患には

原典藥學諸書表

(英)	栄光堂刊「光」救
(日)	世良敬分(著)會
(地)	地球新聞社
(教)	師範大學
(用)	鄧州録

[illegible]

同教授がキム・ホルムとの関係に注目が集まり、ついには六月二十九、三十日の両日、東京で開かれた「スモン調査研議会」での東大薬学部田村研蔵教授の「スモン罹患者」を「ヤベベン」で治療したという証言が、

キノホルム スモン病の原因

社會レクター

明かなことあります。また、
胸と腰は、新しい主なる
のを認めて、
は、
である。この中では、
い程論を好んで、
に、
（中略）次に、
に、

おかげ話

[illegible][illegible]

